

# おがの教育

教育委員会だより No.6

## 平成 28 年度小鹿野町教育行政重点施策

### 夢と志を育む小鹿野教育 ～平成 28 年度いきいきプラン～

昨年度、小鹿野教育の今後 4 年間の方向性を示す基本計画として「小鹿野町学校教育ビジョン」を策定し、その段階的な実現に向けた本年度の重点施策として「いきいきプラン」を策定しました。

課題となっている学力向上に関しては、学校の努力だけでなく、行政や地域の歴史・文化を含めた教育力が大きく関わっています。学校教育ビジョンは、地域総ぐるみのもちこどもたちの育成に向けた働きかけがベースとなっています。皆様には、一層のご理解とご支援をお願いします。

(小鹿野町学校教育ビジョンは町のホームページで詳細をご覧ください。)

基本理念・未来を拓く夢と希望と勇気を育む小鹿野教育

基本目標・ふるさとを担う心豊かな人づくり

#### I 確かな学力の育成

《学力の定着に向けた多様な学習機会の設定と学習指導の充実》

- ①小・中学校 9 年間を一貫した教育の推進
- ②学力向上に向けた授業改善
- ③教職員の資質向上
- ④学習機会の拡充と直接的な支援



#### II 自立し周囲と協調できる社会性の育成

《人のつながりを大切にする教育の推進》

- ①自治・自立に向けた態度の育成
- ②社会体験・ボランティア活動の充実
- ③地域の教育力を活用した子ども達の安心・安全の確保



#### III グローバルな視点を持ち夢の実現に向かう活力の育成

《未来を拓げる親子共学の推進》

- ①夢と志をもち、自立する力の育成
- ②PTA活動の充実
- ③学校・家庭・地域が一体となった教育の推進



#### IV 豊かな人間性と健やかな体の育成

《自他の命と心を大切にする教育の推進》

- ①望ましい人間関係づくりの推進
- ②道徳教育・人権教育・特別支援教育の充実
- ③健康教育の推進



#### V 伝統文化の継承と生涯にわたる学びの推進

《生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進》

- ①ライフステージに合わせた学習機会の提供と支援
- ②生涯学習推進体制の整備と促進
- ③健康づくりとスポーツの推進
- ④文化芸術の振興と伝統文化の継承
- ⑤図書館機能の充実と読書活動の推進



# 教育力向上のために～小鹿野未来塾開講

子どもたちの学力向上と、家庭の教育力向上を目指し、土曜日を活用した「小鹿野未来塾」を5月から開講しました。

講師は民間塾関係者や小鹿野高校教師並びに教員OBの方にご協力をいただいています。

申込状況（4月末現在）

| コース名 | 漢字検定 | 英語検定 | 中学生未来塾 | 科学講座 |
|------|------|------|--------|------|
| 参加者  | 130人 | 99人  | 57人    | 34人  |

※漢検・英検チャレンジを受講した方は、1回分の検定料の助成が受けられます。

## 受講生を追加募集します！

6月17日まで受付

追加募集を行うコースは

- ①漢検チャレンジ ②英検チャレンジ  
③中学生未来塾 の3コースです。

なお、科学講座は定員に達したため追加募集は行いません。

詳しくは、追加募集案内をご覧ください。

皆さん奮ってご参加ください。



## 『おがの家庭教育宣言』の推進に向けて

～身についた習慣は「あたりまえ」～

小鹿野町で生まれ育つ子どもたちには、小鹿野町の未来が託されています。子どもたちの生きる力の育成の基となる学力を向上させることは、学校に課せられた大きな使命であります。

一方、学力の向上は、学校における教育だけでは果たしきれない面もあります。子どもたちの学びの基盤を家庭が創る「家庭の教育力」の向上は不可欠なものです。

そこで、町の教育委員会では、小鹿野町PTA連合会と協力し、家庭・地域・学校・行政が連携し、子どもたちの教育環境を支援するため、左の家庭教育宣言を策定しました。各学校PTAではこの宣言に基づき具体的な目標を設定し、家庭での教育力向上に取り組んでいます。



### 5つの約束

- 1 親子で生活のリズムをつくります
- 2 毎日時間を決めて家庭学習に取り組みます
- 3 家族で積極的に会話をします
- 4 家庭での役割をもたせます
- 5 人を大切にし、「人のために」という気持ちをそだてます

### 平成27年度の成果と課題

平成27年度中の学校や家庭での取り組んできた成果と課題は右のとおりでした。

この結果を踏まえ、今後課題の克服に向けて家庭・地域・学校・行政一体となって取り組んでいきますので、皆様のより一層のご理解ご協力をお願いいたします。

#### 成果

- 朝食を食べてくる子どもの割合が高くなった
- 学校の授業の復習への意識が高まった
- 家族で食事したり、学校での出来事を話している
- 家庭でのお手伝いができるようになった

#### 課題

- テレビやゲームへのルール作りが必要
- 子どもを認める場面をより多く設定する必要がある